

平成22年6月期 第3四半期決算短信

平成22年5月14日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社 グッドマン

コード番号 7535 URL <http://www.goodmankk.com>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 余語 岳仁

問合せ先責任者 (役職名) 取締役営業分掌兼経営企画室長 (氏名) 福井 洋輔

TEL 052-269-5300

四半期報告書提出予定日 平成22年5月14日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年6月期第3四半期の連結業績(平成21年7月1日～平成22年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年6月期第3四半期	11,358	△10.9	123	△84.0	△440	—	△1,277	—
21年6月期第3四半期	12,743	6.7	772	△32.3	424	△34.6	203	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年6月期第3四半期	△127.45	—
21年6月期第3四半期	10.39	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
22年6月期第3四半期	32,072		5,564		17.2		195.80	
21年6月期	36,026		6,942		19.2		333.61	

(参考) 自己資本 22年6月期第3四半期 5,501百万円 21年6月期 6,901百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
22年6月期	—	0.00	—	—	—
22年6月期 (予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

(注) 上記「配当の状況」は普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式の配当の状況については、3ページ「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 平成22年6月期の連結業績予想(平成21年7月1日～平成22年6月30日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,900	△2.3	1,280	△1.5	650	11.5	530	—	34.85

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 ー社 (社名) 除外 ー社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無
(注)詳細は4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年6月期第3四半期 11,042,926株 21年6月期 11,042,926株

② 期末自己株式数 22年6月期第3四半期 139,174株 21年6月期 139,164株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年6月期第3四半期 10,903,754株 21年6月期第3四半期 8,766,211株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

なお、上記予想に関する事項は4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

5. 種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
A種優先株式	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年6月期	—	0.00	—	10.00	10.00
22年6月期	—	0.00	—		
22年6月期 (予想)				10.00	10.00

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用情勢が継続的に低い水準を推移するなど全般的に低迷しており、政府による減税・補助金などの景気刺激策の効果を受けて一部景気回復の兆しは見られるものの、依然として先行き不透明な厳しい状況が続いております。

医療用器具業界におきましては、医療保険財政負担を見直す流れのなかで平成20年4月における薬価改定に起因する競争の激化などにより専門業者が淘汰されつつある一方で、特定機能病院医療包括制度の導入など診療報酬体系の改定が進められ、今まで以上に安価で有用性・機能性に富み、かつ医療現場のニーズに合致する新技術を具現した製品の開発が、より一層重要となっております。

このような状況の下、当社グループでは①OCT診断装置及びイメージングカテーテル②マイクラス社製脳動脈瘤治療コイル③純国産PTCAバルーンカテーテル「ラクロス」、ハイプレッシャータイプ「パワードラクロス」、ノンスリップタイプ「ラクロスNSE」から成るラクロスシリーズ④ベアメタルステントとして世界最高峰の性能を達成しているコパルトクロミウム合金ステントVIVALの4製品を業績拡大のための重点製品と位置付け拡販に注力してまいりました。

平成23年6月期第2四半期から欧州・南米などで販売を開始する予定のVIVALを除き、各重点戦略製品の拡販・市場浸透が順調に伸びてまいりましたが、平成21年7月にボルケーノ・ジャパン株式会社との取引を終了したことによる同社製品販売の減少を補うことができず、当第3四半期連結累計期間においては、売上高113億5千8百万円（前年同期比10.9%減）、経常損失4億4千万円（前年同期は経常利益4億2千4百万円）となりました。また特別損失として事業再編損10億2千3百万円を計上したこと等により、四半期純損失12億7千7百万円（前年同期は四半期純利益2億3百万円）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

① ディスポーザブル医療用具事業

臨床現場において非常に高い評価を受けているラクロスシリーズ、昨年度SRタイプを上市した脳動脈瘤治療用コイル、昨年度日本で承認・保険償還価格の収載を受けたOCTイメージングカテーテル及び欧州薬事承認（CEマーク）を取得した次世代機イメージングカテーテルなどが順調に伸びてまいりましたが、ボルケーノ社製品の販売を中止したことによる同社製品販売の減少を補うことができず、売上が減少いたしました。

この結果、売上高は96億1千4百万円（前年同期比13.3%減）、営業利益は19億4千7百万円（前年同期比29.3%減）となりました。

② 医療用機器・その他事業

医療用機器・その他事業におきましては、ライトラボ社製OCTの次世代機が欧州薬事承認（CEマーク）を取得して販売を開始し、また医療施設内ネットワークシステム（グッドネット）の納入も順調なことから売上高が増加した一方で、引き続きライトラボ社で研究開発費用が発生していることから営業損失となりました。

この結果、売上高は17億4千3百万円（前年同期比5.7%増）、営業損失は6千2百万円（前年同期は営業損失8千6百万円）となりました。

所在地別セグメントの業績は次のとおりであります。

① 日本

ディスポーザブル医療用具事業におきましては、臨床現場において非常に高い評価を受けているラクロスシリーズ、昨年度SRタイプを上市した脳動脈瘤治療用コイル、昨年度日本で承認・保険償還価格の収載を受けたOCTイメージングカテーテルなどが順調に伸びてまいりましたが、ボルケーノ社製品の販売を中止したことによる同社製品販売の減少を補うことができず、売上が大きく減少いたしました。一方医療用機器・その他事業においては医療施設内ネットワークシステム（グッドネット）の納入が順調なことから売上が増加いたしました。

この結果、売上高は103億5千2百万円（前年同期比16.6%減）、営業利益は25億3千万円（前年同期比23.3%減）となりました。

② 米国

ライトラボ社製OCT診断装置及びイメージングカテーテルについて2008年10月から日本で保険償還が開始されたことに伴いグッドマンとの内部取引が増加し、また次世代機が欧州薬事承認（CEマーク）を取得して上市したことにより外部顧客に対する売上が増加いたしました。また引き続きアバンテック社及びライトラボ社で研究開発費用が発生していることから営業損失となりました。

この結果、売上高は27億5千2百万円（前年同期比24.5%増）、営業損失は6億1千5百万円（前年同期は営業損失3億9千7百万円）となりました。

③ その他の地域

日本から純国産PTCAカテーテル「ラクロス」の製造委託が進む一方で、海外向け旧型製品の売上が落ち込んでいることにより、売上高は4億6千7百万円（前年同期比2.3%増）、営業利益は2百万円（前年同期は営業損失1億8千7百万円）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産・負債及び純資産の状況

① 資産

在外子会社のれんの均等償却等により、のれんの計上額が前連結会計年度末と比較して8億6千9百万円減少しました。

② 負債

返済期日到来に伴う借入金返済により、長期借入金が前会計年度末と比較して17億3千8百万円減少し、償還期日到来に伴う社債償還により社債が3億9千万円減少しました。また運転資金調達のため短期借入金が1億3千6百万円増加しました。

③ 純資産

円高ドル安・円高ユーロ安による海外子会社貸借対照表の換算差額により、為替換算調整勘定が前連結会計年度末と比較して5億5千8百万円減少しました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、32億7千1百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは17億9千4百万円の増加となりました。これは主に税金等調整前四半期純損失17億4千1百万円に対し、減価償却費4億8千1百万円、のれん償却額6億1千7百万円、売上債権の減少7億8千1百万円等により資金が増加し、たな卸資産の増加額5億1千1百万円、利息の支払額5億3千5百万円、法人税等の支払額7千1百万円等により資金が減少した結果であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは3億9千6百万円の減少となりました。これは主に有形固定資産の売却による収入2億5千万円等により資金が増加し、有形固定資産の取得による支出3億4千万円等により資金が減少した結果であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは21億2千5百万円の減少となりました。これは主に長期借入れによる収入18億円、短期借入金の純増額1億3千6百万円等により資金が増加し、長期借入金の返済による支出35億3千8百万円、社債の償還による支出3億9千万円等により資金が減少した結果であります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループでは、①OCT診断装置及びイメージングカテーテル②マイクラス社製脳動脈瘤治療コイル③純国産PTCAバルーンカテーテル「ラクロス」、ハイプレッシャータイプ「パワードラクロス」、ノンスリップタイプ「ラクロスNSE」から成るラクロスシリーズ④ベアメタルステントとして世界最高峰の性能を達成しているコバルトクロミウム合金ステントVIVALの4製品を業績拡大のための重点製品と位置付けており、平成23年6月期から欧州・南米などで販売を開始する予定のVIVALを除き各重点戦略製品の拡販・市場浸透を着実に達成しており、平成22年2月5日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,471,291	4,283,474
受取手形及び売掛金	3,794,840	4,587,254
商品及び製品	3,833,956	3,583,137
仕掛品	504,231	329,751
原材料及び貯蔵品	771,301	742,261
繰延税金資産	1,713,096	1,527,490
その他	908,748	893,788
貸倒引当金	△8,825	△37,390
流動資産合計	14,988,641	15,909,767
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,692,470	1,634,096
減価償却累計額	△934,195	△898,099
建物及び構築物（純額）	758,275	735,996
機械装置及び運搬具	690,140	640,537
減価償却累計額	△526,887	△509,030
機械装置及び運搬具（純額）	163,252	131,506
工具、器具及び備品	1,926,869	4,458,840
減価償却累計額	△1,228,017	△1,718,058
工具、器具及び備品（純額）	698,851	2,740,781
土地	1,270,096	1,270,096
リース資産	879,849	724,609
減価償却累計額	△178,816	△60,384
リース資産（純額）	701,033	664,224
建設仮勘定	2,221	—
有形固定資産合計	3,593,730	5,542,606
無形固定資産		
のれん	8,889,360	9,759,048
その他	1,305,906	1,403,668
無形固定資産合計	10,195,267	11,162,716
投資その他の資産		
繰延税金資産	1,985,710	2,009,537
その他	1,209,469	1,241,716
貸倒引当金	△9,402	△9,954
投資その他の資産合計	3,185,776	3,241,299
固定資産合計	16,974,774	19,946,622
繰延資産	108,940	170,586
資産合計	32,072,356	36,026,976

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間末
(平成22年3月31日)

前連結会計年度末に係る
要約連結貸借対照表
(平成21年6月30日)

負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,498,119	1,294,309
短期借入金	12,666,600	12,530,000
1年内返済予定の長期借入金	3,870,215	4,346,457
1年内償還予定の社債	920,000	440,000
リース債務	180,106	146,745
未払法人税等	50,321	50,660
賞与引当金	245,651	262,176
デリバティブ債務	2,391,655	3,156,674
その他	680,590	754,144
流動負債合計	22,503,258	22,981,168
固定負債		
社債	150,000	1,020,000
長期借入金	3,160,927	4,423,463
リース債務	617,559	585,673
退職給付引当金	75,728	74,219
固定負債合計	4,004,215	6,103,355
負債合計	26,507,474	29,084,524
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,738,771	8,738,771
資本剰余金	10,239,961	10,239,961
利益剰余金	△6,464,881	△5,177,831
自己株式	△301,716	△301,707
株主資本合計	12,212,134	13,499,193
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△66,882	△57,990
繰延ヘッジ損益	△1,421,600	△1,876,327
為替換算調整勘定	△5,222,272	△4,663,402
評価・換算差額等合計	△6,710,754	△6,597,720
新株予約権	63,503	40,979
純資産合計	5,564,882	6,942,452
負債純資産合計	32,072,356	36,026,976

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成21年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成22年3月31日)
売上高	12,743,268	11,358,302
売上原価	5,439,349	4,189,475
売上総利益	7,303,918	7,168,826
販売費及び一般管理費	6,531,466	7,045,564
営業利益	772,452	123,262
営業外収益		
受取利息	99,501	4,662
受取紹介手数料	50,515	—
為替差益	94,552	—
受取補償金	—	85,000
その他	16,034	37,172
営業外収益合計	260,604	126,834
営業外費用		
支払利息	423,205	444,492
為替差損	—	114,737
その他	185,102	131,166
営業外費用合計	608,307	690,396
経常利益又は経常損失(△)	424,749	△440,298
特別利益		
投資有価証券売却益	2,305	—
通貨オプション解約益	46,323	—
その他	306	—
特別利益合計	48,936	—
特別損失		
過年度のれん償却額	214,878	—
投資有価証券評価損	94,650	—
固定資産売却損	—	48,768
契約解約違約金	30,000	—
事業構造改善費用	29,068	—
事業再編損	—	1,023,210
金利スワップ解約損	—	190,000
その他	72,106	39,500
特別損失合計	440,703	1,301,479
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	32,981	△1,741,778
法人税等	△170,698	△464,728
四半期純利益又は四半期純損失(△)	203,679	△1,277,049

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成21年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成22年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	32,981	△1,741,778
減価償却費	629,276	481,106
のれん償却額	872,313	617,851
繰延資産償却額	44,684	61,645
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△58,785	△27,963
賞与引当金の増減額(△は減少)	△101,932	△16,525
退職給付引当金の増減額(△は減少)	13,374	1,509
受取利息及び受取配当金	△99,681	△4,844
支払利息	438,882	444,492
金利スワップ解約損	—	190,000
投資有価証券売却損益(△は益)	△2,305	—
投資有価証券評価損益(△は益)	94,650	—
匿名組合投資損益(△は益)	15,355	—
事業再編損失	—	1,023,210
為替差損益(△は益)	124,488	8,921
有形固定資産売却損益(△は益)	△171	48,768
有形固定資産除却損	1,987	18,517
売上債権の増減額(△は増加)	△466,273	781,280
たな卸資産の増減額(△は増加)	172,791	△511,303
仕入債務の増減額(△は減少)	598,139	508,126
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△209,130	4,640
その他の流動負債の増減額(△は減少)	132,752	45,017
未払消費税等の増減額(△は減少)	10,085	△62,577
その他	55,902	520,125
小計	2,299,386	2,390,219
利息及び配当金の受取額	5,840	4,835
利息の支払額	△458,062	△535,612
法人税等の支払額	△21,795	△71,376
法人税等の還付額	—	6,167
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,825,368	1,794,233
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△32,525	△27,327
投資有価証券の売却による収入	81,789	—
金利スワップ等の解約による支出	—	△190,000
有形固定資産の取得による支出	△737,552	△340,463
有形固定資産の売却による収入	732,799	250,649
無形固定資産の取得による支出	△702,106	△44,793
長期前払費用の取得による支出	△9,370	—
定期預金の預入による支出	△320,949	△34,202
定期預金の払戻による収入	382,963	—
その他の支出	△5,208	△76,400
その他の収入	9,639	66,188
投資活動によるキャッシュ・フロー	△600,521	△396,347

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成21年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成22年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,290,000	136,600
社債の償還による支出	△1,390,000	△390,000
長期借入れによる収入	745,694	1,800,000
長期借入金の返済による支出	△4,016,805	△3,538,778
自己株式の取得による支出	△39	△8
リース債務の返済による支出	—	△122,268
株式の発行による収入	3,796,453	—
配当金の支払額	—	△10,729
財務活動によるキャッシュ・フロー	425,303	△2,125,184
現金及び現金同等物に係る換算差額	△198,970	△119,086
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,451,179	△846,384
現金及び現金同等物の期首残高	2,676,665	4,117,421
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,127,845	3,271,036

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間（自平成20年7月1日 至平成21年3月31日）

	ディスプレイ ブル医療用具 (千円)	医療用機器・ その他 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	11,093,859	1,649,409	12,743,268	—	12,743,268
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	11,093,859	1,649,409	12,743,268	—	12,743,268
営業利益又は営業損失 (△)	2,755,932	△86,891	2,669,040	(1,896,588)	772,452

(注) 1. 製品の種類、性質、製造方法、販売方法等の類似性、損益集計区分及び関連資産等に照らし、事業区分を行っております。

2. 各事業の主な製品

- (1) ディスposable医療用具事業…PTCAバルーンカテーテル、サーモダイリレーションカテーテル、心臓血管造影用カテーテル、冠動脈用ステント、ドップラー血流速度測定ワイヤー、血管内超音波プローブ、血管内OCTイメージワイヤー等
- (2) 医療用機器・その他事業…超音波ドップラー血流速度監視装置、超音波血管内画像診断装置、心機能解析装置、DICOM画像医療施設内ネットワークシステム、血管内OCTイメージングシステム等

当第3四半期連結累計期間（自平成21年7月1日 至平成22年3月31日）

	ディスプレイ ブル医療用具 (千円)	医療用機器・ その他 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	9,614,868	1,743,433	11,358,302	—	11,358,302
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	9,614,868	1,743,433	11,358,302	—	11,358,302
営業利益又は営業損失 (△)	1,947,572	△62,175	1,885,396	(1,762,134)	123,262

(注) 1. 製品の種類、性質、製造方法、販売方法等の類似性、損益集計区分及び関連資産等に照らし、事業区分を行っております。

2. 各事業の主な製品

- (1) ディスposable医療用具事業…PTCAバルーンカテーテル、サーモダイリレーションカテーテル、心臓血管造影用カテーテル、冠動脈用ステント、血管内OCTイメージワイヤー等
- (2) 医療用機器・その他事業…心機能解析装置、DICOM画像医療施設内ネットワークシステム、血管内OCTイメージングシステム等

〔所在地別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（自平成20年7月1日 至平成21年3月31日）

	日本 (千円)	米国 (千円)	その他の地域 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	12,405,912	335,338	2,017	12,743,268	—	12,743,268
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,500	1,875,929	455,169	2,336,599	(2,336,599)	—
計	12,411,412	2,211,268	457,186	15,079,867	(2,336,599)	12,743,268
営業利益又は営業損失（△）	3,299,662	△397,292	△187,199	2,715,170	(1,942,717)	772,452

（注） 国又は地域の区分の方法及び各区分に属する主要な国又は地域

1. 国又は地域の区分の方法 地理的近接度によっております。
2. その他の地域に属する主要な国又は地域 アイルランド

当第3四半期連結累計期間（自平成21年7月1日 至平成22年3月31日）

	日本 (千円)	米国 (千円)	その他の地域 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	10,341,490	1,016,811	—	11,358,302	—	11,358,302
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	10,606	1,736,011	467,723	2,214,340	(2,214,340)	—
計	10,352,096	2,752,823	467,723	13,572,643	(2,214,340)	11,358,302
営業利益又は営業損失（△）	2,530,846	△615,418	2,118	1,917,546	(1,794,283)	123,262

（注） 国又は地域の区分の方法及び各区分に属する主要な国又は地域

1. 国又は地域の区分の方法 地理的近接度によっております。
2. その他の地域に属する主要な国又は地域 アイルランド

〔海外売上高〕

前第3四半期連結累計期間（自平成20年7月1日 至平成21年3月31日）

海外売上高の合計が連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間（自平成21年7月1日 至平成22年3月31日）

海外売上高の合計が連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

該当事項はありません。